

ヨウシュチョウセンアサガオ (洋種朝鮮朝顔)

名前の意味：西洋からやってきたチョウセンアサガオの意味。朝鮮と名が付いているが、朝鮮半島からやってきた訳ではなく、単に見慣れないというだけの意味。花はアサガオに似ていると思われた。

分類：双子葉類、ナス科、チョウセンアサガオ属

(ナス科の栽培植物：ナス、トマト、ジャガイモ、トウガラシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：大きなラッパのような花、ウニのような形の実。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：ほとんど切れ込まない。合弁（花びらがつながったまま落ちる）

花の時期：8—10月

食べ方：食べるとおなかをこわす。

見分け方：エンゼル・トランペットは、木のように高くなり、花は下向きに咲く。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)